

ゆめサロン

便り

平成 31 年
3 月 24 日
吉賀町ゆめサロン
No.418

お彼岸も終わりました。



皆様お元気でしょうか。お彼岸が終わったのに寒いですね。

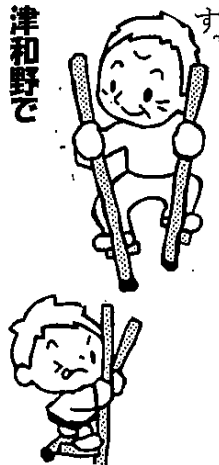
今年は雪はほとんど降らなかつたのですが、春になつても寒くて皆様も体調管理が大変と思います。お気を付けてください。



桜の苗木

夫のいとこが、岩国からお墓参りに来て陽光という桜の苗木を四本くれました。濃いピンクの花と蕾が沢山ついています。わたしたちがいなくなつてもこの花たちが辺りを華やかに飾ってくれることだろう

と綺麗に咲いた様子を想像しながら夫と植樹しました。楓もいろんな色が辺りを彩ってくれるので秋には桜の葉っぱも綺麗になることだろうと楽しみです。でも、植え始めると雨が降り、家に帰ると晴れて、出たり入ったり、そのうちに大きな霰が降ったりして思い出深い植樹の日となりました。多くの人を楽しませてくれることを想像してニンマリしています。



津和野で

一歳半の長男を乳母車に載せて、三歳の長女を歩かせて買い物に行っていた頃、ある日近所のお爺ちゃんがつかつかと寄つて来られて「奥さんその坊やを私に貸して下さいませんか」と言われました。「いいですけど人見知りして泣きますよ」というと泣いてもいいです。と言つてくださったのでお言葉に甘えてす

ぐにちゃっかりとあずけてしまったのが始めてでした。それから四年そこに住んでいる間そのお爺ちゃんや近所の方にお世話になつて子育てをしました。そのお爺ちゃんは小学校の校長先生をされていたけど定年退職されて悠々自適の暮らしをしておられました。娘さんもご養子さんも教員でした。お爺ちゃんは朝夕保育所の送り迎えもして下さり、母親の私は助かりました。

「おはようございます、坊ちゃんをおむかえにあがりました。」ときてくださり、物語気分です。そんな楽しい毎日でしたが私達が転勤になり、時々の交流だけになり、時は過ぎて行つたのです。先日、そのお爺ちゃんのご親戚の奥さんと電話でお話しすることがありお爺ちゃんのその後をお聞きし居ても立つても居られなくなり、お爺ちゃんの眠られるお寺さんを探して行きました。亡くなられてから四十三年たつていたのです。お寺さんは格調の高い方

した。後日お墓を探しにいきお参りさせていただきます。

猫の

あやむす



皆様お元気ですか。

春が来ましたね。ある子は嬉しいです。この前から飼い主たちが出かける時、ある子のバスケットを出してくれます。ある子はそつと自分が入ると、飼い主が喜んで「さあブーブーさんに乗ろうね」と言つて連れて出てくれます。辺りの景色が春の色になつて太陽の光が優しくある子を包みます。飼い主はいいです。「ある子はうちの大事な末っ子だからね。」と・・・ということがあることは猫の着ぐるみを着た人間だと思つているのでしょうか。何でもいい仲間に入れてくれるのが嬉しいです。この頃は爪とぎをしなくなつたのです。きつと狩りの心をなくしたのでしよう。最近のある子の役割は時間を心得て飼い主に教えることです。ではまた

ゆめサロン

便り

平成 31 年
4 月 11 日
吉賀町ゆめサロン
No.419

春爛漫

みなさまお元気ですか。
平成最後の桜が満開で優しい風にもはらはらとこぼれるように飛んでいきます。

私達は今日も元気で暮らさせて頂き感謝です。



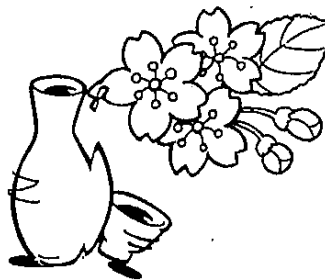
今年の天気

寒いですが、東京ではゆきが降ったそうです。どんな日もあつて平均して春の天気となるんですね。
入学、就職、進級と新しい生活の始まる時期です。体も心も大切にしてい

新しい生活に早くなじんで欲しいと祈る気持ちです。

桜の季節

毎年のことですが、桜の季節になると



「あんなに沢山桜があつたのだなあ」と気がつきませんがまた忘れてしまいます。家の周りに桜をあちこち植えましたが生きていない間に綺麗に咲いてくれることはないでしょう。桜の花が散る中、立っているとまるでアニメの世界です。今年も美しい桜をみる事ができて幸せです。

次の元号は

令和

いいひびきですね。



ニオイバンマツリ

去年きれいな鉢植えを娘が買って送ってくれたので、嬉しくて地植えにして春が来るのを待っていたのですが、最近それがなくなっていたのです。折角買ってくれた娘に申し訳なくかなり大きな種苗店にいつて聞いてみました。

「ニオイバンマツリはありますか」と

ところが無愛想なお兄さんが「それは植物ですか。うちにはありません」と言われました。

どんな顔をしてきいたんだろうと自分を反省しています。

懲りずに探してみようと思う娘が恋しい私です。



猫のあきどす。



皆様こんにちは、お元気ですか。あることはすっかり年とりました。飼い主とそのツレがあることを悲しそうな顔をするので、一生懸命元氣そうなふりをしています。でも歩き方はヨタヨタ、トイレの箱の中によじ登るようにして用を足すのですが、飼い主がみて居て「もうちょっとまえにいつて！」

といつたりします。飼い主は夜中でも起きてヒーターを入れたりしてくれます。飼い主が病氣と闘っている時、いつもあるのは飼い主のそばにいてみて居てくれたからと言います。飼い主はよく抱いてくれますがそのとき飼い主の着ているものが目が粗いとあるこの爪がひっかかって抜けなくなり痛くてあることは吠えるようになります。そんな時飼い主は夜中でも着ていたものを脱ぎ捨てて外してくれるのです。こうしてある子と飼い主は残り少ない日々を暮しています。

ゆめサロン

便り

平成 31 年
4 月 21 日
吉賀町ゆめサロン
No.420

平成最後の ゆめサロン定例会



暖かいというのを通り越して暑い様な日でした。

二月はインフルエンザが流行っていて休会、三月は仲間の会との合同で、定例会は無くして今回久しぶりの会と言う事です。

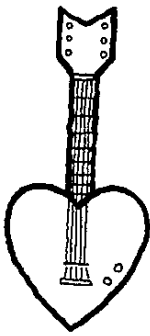
この会は十一年半続きました。これも会のたびに保健師さんが出て下さり、守っていて下さるからこそ続いたことだと会員一同感謝しています。今回は久しぶりと言うことも有り患者経験のかたの積もるお話しがあり、気がつけば保健師さんからのお話しを拝聴する機会を持たなかった事を今になって残念なことをしたと反省しているところです。益田から薬剤師の先生が参加して下さった事と倉敷で社会保険

労務士をしている患者家族が加わってくれました。ひばりの会の指導される先生が脳トレと歌で盛り上げて下さり最後は薬剤師の先生による写真撮影で元気な姿を撮って頂き、心ひとつになって会を閉じました。又元気な姿でお会いしましょう。

勇気付け られた事



患者会を持っているグループと持っていないグループを、同じ医師による治療を受けたアメリカの実験で明らかに患者会を持っている方が治療率が高かったという結果の報告があります。一人で悩まずに仲間にも声をかけてもらい、歌って楽しませました。と参加した社会保険労務士から聞き嬉しく思いました。



笑って しまいます。



親しくして下さっている方からメール頂きました。丁度日赤にいて友達と話してしまいましたので急いで返信しました。

「私は今日赤です。後でお返事します」と。句読点なしのメールその夜その方からの電話で「今日、赤とは何かいねえ」と「???」

またある時

「お元気ですか、明日どこ持って行つていいですか」というつもりが急いでいて平仮名ばかりです。あすっこともっていつていいですか。とうったらしく

「明日籠るとはどこにこもるんかね」と。私は一人でガラケイを握りしめ大笑いし、自分の乱雑さを反省する夜でした。

猫の あることです。



皆様こんにちは、お元気ですか。あるはこの頃体の毛が抜けて困ります。飼い主はそれを見て、「抜いてあげよう」といってガムテープを切つてはある子の体に貼り付けては剥がします。

「あるこバリバリをしてあげよう」といいます。それを知った飼い主の妹がコロコロとかいう絨毯を掃除するものを飼い主にプレゼントしたのです。物好きな人たちです。でも楽しそうにやっているのでやらせて居ますが時々煩くなり飼い主のツレの方に行きます。

このツレは優しくあることに悪戯はしません、その代り飼い主がある子の顔にマジックでメガネを書いても何も言いません。飼い主が掃除機をかけるときはある子について歩きます。ある子の体にも掃除機をかけてくれるのが気持ちいいです。では又御機嫌よう

ゆめサロン

便り

平成 31 年
4 月 21 日
吉賀町ゆめサロン
No.421

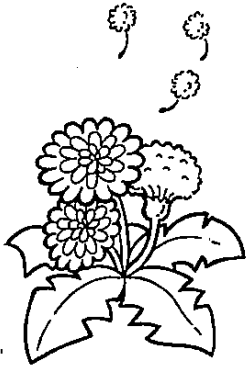
新緑



日ごとにあたりの新緑は濃くな
って季節が進んでいきます。

昨日は平成最後のゆめサロン例
会でメンバーの皆さんと一緒に楽
しみました。

今回もうさこさんの美しいお心
に寄り添わせていただきます。パソ
コンの不具合と自分で自分の未熟
さを棚に上げ手書きをしました。未
熟さは更に醜くなりパソコンに再
度お世話になることになりました。



うさこさんの 短歌コーナー

○錯雑さくざつの



2019年 卯月

(うさこ)

ごとくにいきて是正する

心持つとき光も見えし

○ひらひらと

散りてわびしき桜花

そつと見届け愛惜の情

○咲いて散る

あわれ桜に称賛の

意をたたえつつ春の宴に

○山々に

こぶし咲く頃山ついで

可憐な風情卯月の空も

○さらさらと

頬なでる風春の香を

そつと運んで夢のごとくに

うさこさんありがとうございました。



猫の

あることです。

皆様いつもありがとうございます。

す。お元気ですか。



あることは前にも言ったように手足
の爪が長くなり過ぎて歩くのも難
しくカチカチと音が出ます。飼い主
が心配して切ってくれようとする
のですが痛くてじっとしておれま
せん。わーあつと怒鳴れば飼い主が
恐れてあることをぼーんと投げ
ます。飼い主はいいいます。

「お医者さんに行つてきつてもら
おうね」と・・・

昨日飼い主の娘が倉敷から帰り、
またすぐに行つたのですが、馴れ馴
れしくあることを抱こうとするので
爪を出して脅してやりました。これ
にはびびっていました。パソコンの
ことで帰つたらしいのですが、ある
ことには関係ないので寝たふりをし
てやりました。また帰るからねとい
いました。飼い主が娘ばかりかわ
いがるのである子は寂しいです。

ゆめサロン

便り

令和元年

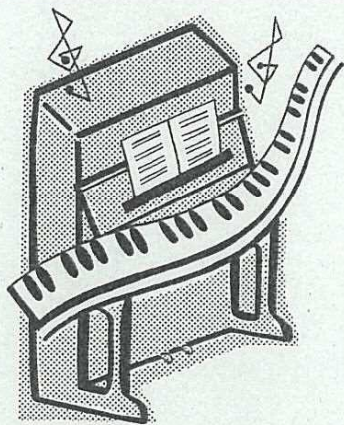
5月15日

吉賀町ゆめサロン

No.422

令和の サロン便り

辺りの新緑は日々色濃くなりつつあり、むせかえるような香りを漂わせているようにさえ思えます。皆様お元気で過ごさしてでしょうか。皆様と語り合って元気に過ごさせて頂いて、大きな幸せを感じるところです。今月もよろしくお願致します。



うさこさんの

短歌コーナー

○ 君知るは

里山淡く早緑に

染まる季節の朝を迎えて

○ 櫻花

愛でた春の日過ぎ去って

五月の空は 夏に近づき



(うさこ)

○ るり色の

羽根の輝き 夏あげは

優雅に止まり花から花へ

○ あまりにも

さえずり清きうぐいすの

五月の空は 冴えて輝き

○ 花吹雪

舞ってはかなき花びらの

一枚までも愛おしく

うさこさん

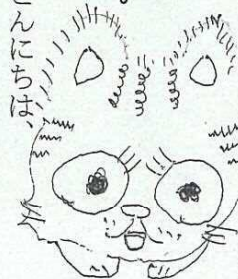
いつもありがとう

ございます。

猫の ある子 です。

みなさまこんにちわ

お元気ですか。この頃は人も猫も高齢化社会と言われるようになり、長く生きているのは申し訳ないように思います。医療が発達して若くて死ぬことがすくなくなってきたから統計的にそう思えるのだと飼い主の娘が飼い主に話していました。ところであるこは二十歳近くになったのですがこの前酷い目にありました。爪を切りに。ペットクリニクに連れていかれたのです。おむつをしてりぼんをつけた可愛い犬たちはいいこで順番を待っていました。があるこは猛獣のようにうなってピラッつと宙を舞うムササビのように飛び回りました。挙げ句の果てに先生から今日はこらえてくれ命が危ないのが沢山いるんだと言われてしまいました。帰りの車でもずっと唸っていました。皆さん元気で長生きしましょうね。又

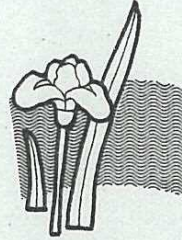


ゆめサロン

便り

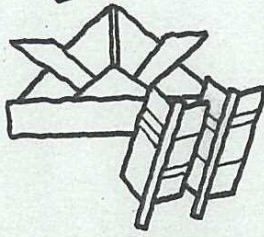
令和元年
5月19日
吉賀町ゆめサロン
No.423

令和最初の 定例会



緑に囲まれた小さな町に五月雨がシトシトと降り、肌寒い日でしたが保健センターの中はみんなの笑い声が響き、武庫川大学からいらした先生と保健師さんでそこに集う人たちの平均年齢をうんと下げて下さっていました令和最初の会も楽しく盛り上がりました。

お客様 をお迎えに



お客様は初めに書きました武庫川大学の先生でした。自己紹介や一人づつの病歴など辛い話しを聞いて

て下さり、私達のサロンのねらいとしている事を聞いて下さったり、アンケートにお答えしたりしているうちにあつという間に予定の時間が来ました。みんなは、先生に「またいらしてください。」といってすっかりお友達気分になっていました。

来月も元気で会う事を約束し車に乗ったところには五月雨もやんで曇り空になっていました。あらためてゆめサロンがあつてよかつたと思ひ、それを気付かせてくださった今日のお客様に感謝する私でした。

保健師さん 有り難う ございます。



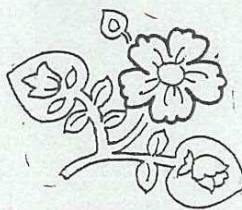
十年七か月続いたゆめサロンは一年へと細く長く続いて行きます。これからも見守って下さいませ。ゆめサロンは私達の生きがいです。

ニオイバンマツリ



これがどんな花なのかみてみたいといっていたら娘が鉢植えを買って去年送ってくれました。嬉しくて庭に置いた小さなテーブルの上に置いて出かけて行ったのです。その日は運悪く強い風が吹いたらしいのです。帰って見たら飛ばされて無残な事に...それを花畑に植えてよみがえるのを期待しました。ところが今年...ないんです。影も形もありません折角くれた娘にすまないと悩む私です。

足指健康法 転倒予防にも



この頃足指の大切さを書いた本をよくみかけます。今朝テレビの健康番組でもいっていました。そういう力がかかるところです。気を付けましょう。

猫のあそび



あるこは一九九九年に岡山で生まれ、この家の娘の大学の友達がお娘にくれたのです。その頃島根のお婆ちゃんが亡くなって寂しいだろうからと言って娘が島根に帰ったからある子はこの家に飼われるようになりました。飼い主のツレは商工会、飼い主は違うところに勤めていましたので日中はある子はひとりでした。あのころはあるこも若かったものです。今では人間でいうと百歳近いかもしれません。寝てばかりのまさに寝子です。

この前飼い主が、面白半分で猫用の紙おむつを買ってきました。それが小さすぎる上に履かせ方がわからないらしいのです。尻尾を出すための穴があるのに飼い主は面倒くさがりで「いいよ中に入れておくれ」といいますがこんなものなのかにはしたくないので我慢します。そんなことでこの家には濡れてないおむつがテーブルの上に置いてあるのです。誰かいらないかなあ

ゆめサロン

便り

令和元年
6月5日
吉賀町ゆめサロン
No.424

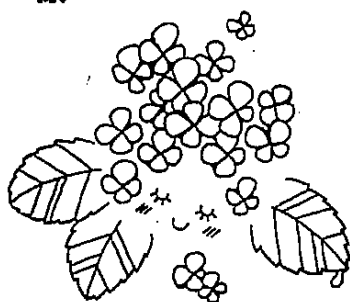
もう六月



早いですね。まるで竜宮城にいるような速さで時が進みます。山は緑が濃く、色鮮やかな花が辺りを彩ります。

皆様お元気ですか。楽しくお過ごしになりますように祈ります。

歯の健康



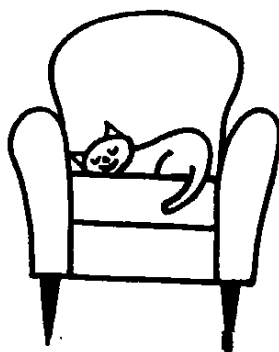
六月四日は歯医者さんに行こうと以前から決めていましたのに、私にとっては勇気がいりました。でも計画通りというか一日遅れて五日にお願いしました。歯科衛生士さん

が、歯のチェックをして下さり、歯磨き指導をして下さって、その後先生が今の状態を説明して「その後手術を受けた経過はいいですか。」

「暑くなるから大切にしてくださいね」

とおっしゃって下さり覚えて居て下さったんだとびっくりしました。歯と体と頭と関係がある、栄養を取るにしても、美味しいものを食べて元気でいると言う事が一番理想ですからねと話して下さいました。勇気を出して検診を受けさせてもらってよかったですと思いました。

もう一匹の家族

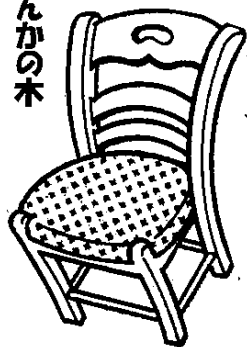


うちのもう一つの家族は猫です。

人間の年でいうと百歳だとかいう人がいますが本当でしょうか。ペットクリニックの先生がこのサプリメントを毎日一個あたえなさいといって渡して下さいました。関節が痛いのがなくなるのだとか。うちの猫は痛いとは言わないけど飲ませています。

すると、少し元気がでたようで、私の相手をしてくれるようになりました。毎日シニア二人と一匹は生きています。

さざんかの木



今の季節に似合わない名前ですが、アイビーのような植物が絡まったので一メートルくらい残してのこぎりできて、切ったものを片付けました。ところが次の日、二の腕から首にかけてかぶれて痒くてなりません。悪い事がありました。折角頑張ったのに。

猫の

あーんす。



みなさんこんにちは。ある子は今日も一日中ねてばかりいます。外に出ることも忘れませんでした。食卓の椅子がある子専用があるのです。そこを下りて隣の部屋の縁側に置いてあるある子専用のトイレに行くほかは椅子の上で寝ています。フロアーや廊下を歩く時は前にもいいましたがカチカチと爪の音がします。もはや猫ではないのです。手がかかるとは飼主です。夜になっても寝ないでテレビばかり見ているのである子は飼主のベッドで待ちます。一緒に寝るのではありません。飼主がベッドに入り寝息が聞こえはじめると、ある子はそとと抜け出してソファアに行つて眠ります。朝四時半に飼主のツレは起きて新聞を見ます。飼主はある子が起こすまではおきてきません。そんなことであるはこの家からいなくなることは出来ません。今日もトリプルシニアで生きます。

ゆめサロン

便り

令和元年
6月16日
吉賀町ゆめサロン
No.425

梅雨の季節

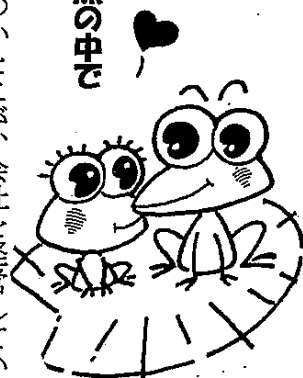


みなさまお元気ですか。

暑かったり寒かったりして自律神経の調節が体の方で大変だと悲鳴を上げています。皆さまは大丈夫ですか。この頃は、調子が悪い時は気圧が変ったかなと思うようにして自分の体のせいにならないことになりました。

いいのかなあと思いつながら...

自然の中で



夫のいとこが、会社を経営しているのですが、会社とは関係ない花

つくりが趣味で合間にいろいろやっているらしく一昨年、プランター五つに挿し木用の土を入れてそれにあじさいを沢山さしていえのまえにもつてきてくれました。多分これは白い紫陽花だと思いつながらご厚意に甘えて蔵の前に沢山移植しました。周りの空き地に植えたらいいといつてくれるのですが業者さんに刈つてもらうので、それはできません。私らが

いなくなつてもこの地が美しいといのですが、このいとこはここから十キロ位の所にヤマメを養殖する池を三つ持っていて囲炉裏も作り撮つたヤマメを焼いて食べる所も作っています。この時期ホタルもいるはずですが、岩國に住む仲間と共同で楽しんでいきます。

「それもまた人生」という私は時々そこで楽しませてもらっています



六月の例会

とりやめまじ



残念でしたが、前日から雨が酷く、警報が出るかもしれないという状態でしたので大事を取って会員さんに休会の連絡をさせていただいたところ、皆さんこころよく賛同して下さいました。幸いにして警報は出ませんでした。風雨が酷く肌寒い日でした。

家にいればいたで雨や風を気にしながら、みんなはどうしておられるだろうと落ち着かない気分もあり、手持ち無沙汰でもありました。メンバーのmさんが能登への旅をしてこられたという勇敢なお話を聞きそびれたことも残念です。この方は次の日お誕生日で九十才になりました。歌の指導をされたり書道を子どもたちに教えられたりその他いろいろのボランティアに関わっておられます。そのバイタリティーにあやかりたいと尊敬します。

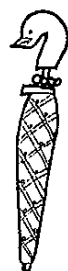
猫のあそび

二十歳です。



みなさんお元気ですか。ある日は今日も元気です。皆さんが読んで下さるからあるこはいいこにしていなきやなりません。飼い主が乳癌手術を受けたとき、あるこはどうなることかと思いましたがいい病院と素晴らしいお医者様と看護師さんその他大勢の皆さんのお陰で飼い主は元気になりました。あるこはいつも枕元において飼い主をみて居ました。そんな時

「ある子を一人にしたらいけんからねえ」
と飼い主はいつていました。あるこはネズミやすすめや色んなものを飼い主に持って帰ってやりました。がそのたびに何故か飼い主はある子を怒ったものです。今はある子が年取ってしまったので狩りはできなくなりました。毎日食卓の椅子に寝ています。皆さんどうぞお元気です。



ゆめサロン

便り

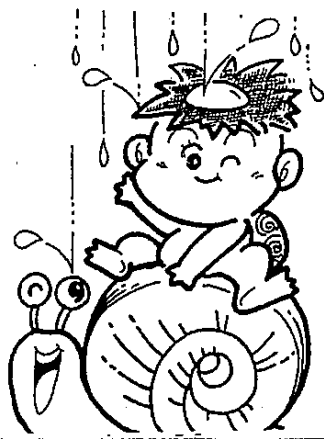
令和元年
6月16日
吉賀町ゆめサロン
No.426

雨にあらわれて



皆様お元気のこととお慶び申し上げます。辺りの緑は、雨に洗われて一層あざやかにみえ、遠くで微かにホトトギスの鳴き声が聞こえるようになりました。

そんな日うさこさんが、心優しい短歌を送ってくださいましたのでご披露いたします。いつも有り難うございます。



つばきさんの短歌

2019年
水無月
(うさこ)

○ホタル舞う

季節の頃にアジサイの

色七変化夏も近くに

○見つめ合い

そつと寄り添うツバメらの

無償の姿ただ愛らしく

○野あざみの

派手さなくして初夏の風

受けて可憐にあちこち咲いて

免許返納



昨今この言葉が私の頭を悩ませます。交通事故がこの頃多いのもありますが、この田舎で、車なしでは生活できないのです。少し前までは法務局まであったのに今は何もかも中央一局集中と叫ばれるようになり、不便になりました。そんなことで私の夫も返納するから妻である私に練習しろと言うのです。今まで楽をしてきた分要望に応えなければなりません。さあ安全運転を心がけて、頑張ろうと思えば、せつかちな世の中で、ゆっくりいけば後ろからクラクションをならされてパニックになり頭は円形脱毛症になりムダ毛はいくらあっても足りません。私も免許返納したいけどいまのところそれもいいたせません。憲法改正と言う言葉がおどりますが、日本国憲法第何条、やらにすべての国民は文化的な人とやらがあつたがなあと落ち込む私は・・・

猫のあるじ

二十歳です。



皆様こんにちは。お元気ですか。今年ももう半分過ぎようとしている。と飼い主はぶつぶつぶやいていますが元気が一番ですね。楽しくやりましょうね。

ところでこの頃悩みがあります。ある子の爪が伸びすぎであるけぱいたいです。ゆっくり歩いてトイレにたどり着くのが大変そうに見えるのでしよう。飼い主がおしっこにいこうねと抱いて行くのです。自分一人で自由におしっこしたいのに飼い主がトイレの中に押さえつけて「しっしなさい」といっておしっこするまで立たせてくれません。夜、飼い主が寝てからはある子は歩いてトイレに行くのです。用無しの飼い主はいろんなことをして遊んでいます。では又御機嫌よう



ゆめサロン

便り

令和元年
6月21日
吉賀町ゆめサロン
No.427

今日は夏至です。

皆様お加減如何ですか。



夏至といふのにまだこの辺りは梅雨入りしていません。二十五年くらい前、夏至なのに寒くて、孫を昼寝させるのに炬燵をだしたことがありました。その後暑くて暑くて水もありません。その後暑くて暑くて水もありません。

雑草

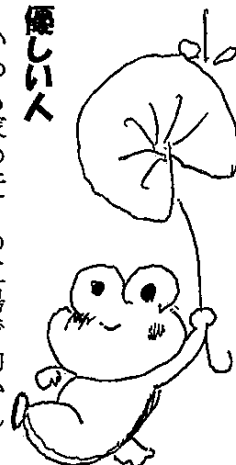
昨年秋に草刈りしてもらったこの周囲は春も過ぎたころから酷い雑草の森になりました。この下には数多くの命が沢山あるのだろう



と思えば触る気持ちにもなりません。そのうち綺麗な花も咲くでしょう。そう甘くないのが世の中でしょうか。

優しい人

いつも家の近くの工場で働かれる男性に、日赤で会いました。定期検診で体を整えては働かれるのでしよう。待ち時間もコミュニケーションの場です。お母さんの話になり、今、一人で住んでおられるけどもう九十歳だがお元気といわれました。あんな年になつたけど頑張つて生きてくれているから感謝していると云われるのです。年取つた親がいるから迷惑しているとみんな思っているのかもしれないと思つていた私はそんな人ばかりではないんだ。と知りました。人は自分で死ぬことはできないからこんなに思つてくれる子供がいることはお母さんも幸せでしょう。その方に頭が下がる思いでした。私もそう思われるようになりたいと



良い年寄りを目指したいです。

猫への土産

猫を留守番させておいて日赤に行きました。帰りにペットショップで猫のおむつを買おうと探しましたが犬のものしかみつかりません。体が不自由なのにトイレに行くのは可哀想でぜひやつてやりたかつたのです。それでおむつをしてもすっぽり脱いでぬけがらにしていたのだとわかりました。さぞ迷惑だったことでしょう。尻尾穴に尻尾を通すときとても嫌がるのです。尻尾を持つて引く張ると「うやくん」というのです。二十歳の猫は今日も食卓の椅子の上でお昼寝の猫です。



猫の

あやうです。

皆様こんにちは、

なかなか梅雨に入りませぬね。あるこは皆様に可愛がられて幸せに暮らしています。



飼い主はあることをおもちやにしておむつをしたりして楽しんでいますが冗談じゃありません。あるこは猫なんです。飼い主より若い二十歳なんです。でもこの頃は近所のたまおくんもきてくれないし黒猫もきません。ねずみもスズメも来なくなつて寂しいものです。飼い主が不思議がることの一つにある「習性」があります。それはある子の専用の食卓の椅子に上がった時に「あやう」と十回以上鳴くのです。あることしては上がったという喜びの歌のつもりですが、飼い主は「どうしたんかね」としつこく聞きます。ほつといてほしいですよ。夜も飼い主がベットに入るまでは飼い主の枕の上で待ちますが飼い主が寝に来るとあるこはにげてやります。煩わしいのは嫌いです。ではご機嫌よう



ゆめサロン

便り

令和元年
7月11日
吉賀町ゆめサロン
No.428

どんな夏？



梅雨の入りが遅かったのですが、今になってぐずぐずした天気が続いています。

皆様お元気で過ごしてはいかがでしょうか。タチアオイも上まで花が咲きました。後少しで本格的な夏がやってくるのではないかと思います。皆様お元気で過ごしてくださいませ。

本をかりて



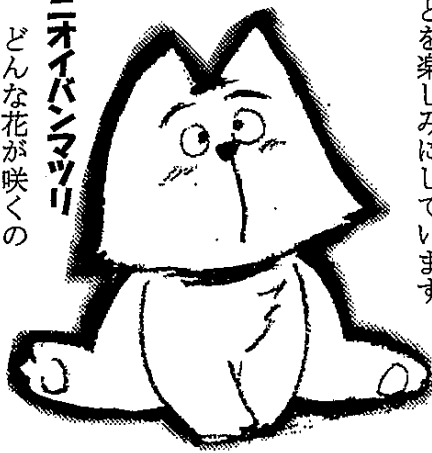
私が猫が好きな事を、知っていらしたのででしょうか。お付き合いさせてもらっている奥さんのご主人様が、貸してやれと言ってくださった

そうで一冊の本を貸して下さいました。「猫は悩まない」と言う本でした早速むさぼるように読んで行く私、うちの食卓の椅子に陣取って寝ている猫を見ながら・・・その本は私に生きていく指標をしめしてくれました。しばらくして、目が疲れて考え付いたことはそうだ、ルーペを買おう。ということでしたまず生きる指標を示してもらうためにメガネを手に入れること。そこで学んだことは（一人では生きられない）ということでした。本を貸して下さいた方に感謝しながらメガネを買いに行くことを楽しみにしています。

ニオイバンマツリ

どんな花が咲くの

と欲しがる私に去年娘が買って送ってくれました。そして



それは風の強い日、外に置いてかけたのです。当然花は飛ばされて無残だったことを以前書かせていただきましたが

畑に植えかえた花のそばで頭を持ち上げた蛇が尻尾をふるわせていたのがこわくて一度も見にいきませんでした。今年になってその花の咲くころに楽しみに見に行きました。確かに植えたはずなのにないのです。どうしよう。と思っていました。最近になつて何事もなかったようにその場所に青々とした葉っぱがあつたのです。でも今年は花を見ることができません。来年に期待します。ゆめをみて居る様な話です。



挿し木の紫陽花

夫のいとこがくれた紫陽花はやっぱり、白い花ばかりでした。雨の中、又曇り空の下で清楚な白い花を咲かせてくれています。

改名しました。猫のアルです。どうぞよろしく



ある子という人間と思われる方もあるかと思ひ、今になって飼い主が、かえりました。二十年前、子猫をもつてきてくれた飼い主の娘の友達が「五十嵐アルテシア」という名前をつけたのをくれたのです。アルテシアとは、漫画ガンダムシリーズの登場人物ですがそんな難しい事は飼い主にはわかりませんが、最近になって人間と同じでは悪いからと飼い主が「ある」にしました。ペットクリニックでは「あるぽ」といわれるし、まあなんでもいいです。飼い主が言うには「最近アルは耳の聞こえが悪いかもしれない、呼んでも返事をしない」といいますが「あるこ」といったり、「ある」といったり、わけわからんです。そのうち「みい」とかにされるんじゃないでしょうか。二十歳のあるは今日も元気で飼い主のおもちゃです。

ゆめサロン

便り

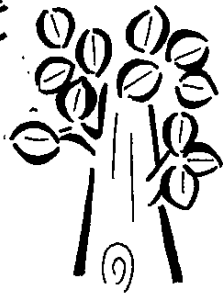
令和元年
7月14日
吉賀町ゆめサロン
No.429

緑濃く

雨に洗われた木々の葉っぱは緑の絵の具を振りかけられたようにさらに緑が濃くなっています。



皆様お元気でお過ごしのことと存じます。やがて夏本番です。どんな楽しい事が待っているでしょうか。



うたごえさん

ありがとうございます。

今回も情緒豊かな短歌をおくって下さいました。ご披露いたします

うたごえさん

短歌コーナー

2019年 文月
(うたご)

わが心

写す姿の鏡みて

さんげあるのみ是正の日々に

胸奥の

思いの多きことあるも

開く勇氣も心に留めて

梅雨なれど

頬なせる風さらさらひらひら

優しく吹いて心おだやか

優しい心

に感謝



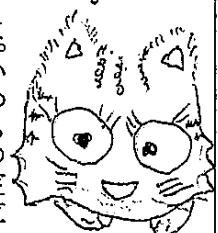
長男の大事な人のおかあさんから毎月絵手紙を頂いて久しいのですが今回可愛い封書が届きました。何だろうと楽しみに開いてみると、???。それはニオイバンマツリの花を見たがる私に、押し花にして送って下さったのでした。まだいい香りがあるうちに・・・と急がれたから押し花になりきってなくて茶色の花びらが和紙にへばりついておりました。香りはなくて、私は何だろうと考えました。早速電話してはじめてわかりました。優しいお気持ちに感謝したことはいうまでもありません。私が来年元気で生きていて、うちにあるニオイバンマツリの木に花が咲くことを楽しみにします。(今年には咲かなかったのです)心が温かくなりました。



猫のあるです。

皆さんお元気ですか。

ですか。



あるは驚きますよ。いつもの定位置に寝て居たら、飼い主が突然触つて、「体温がない」といいツレがいふには「いつそうなつてもしかたがないよ。苦しまんといってくれたらいい」といっています。あるは寝ているんです。失礼でしょう。目を半分開けて脅かしてやりました。でも安心して居るからこんなことができませぬ。ムササビのように飛び回るのであるドクターには嫌われているようです。うちの兄貴の先輩さんが具合が悪い時はクリニクに行くことを教えてくださったのにこの頃は高齢のあるはどうでもいいのかなあ。長老といつて飼い主は大事にしてくれています。飼い主はこの頃、一猫は悩まない—と言う本を借りてきて読んで居ますがあるは悩んだりしません。それが幸せというものですよね。ではまた

ゆめサロン

便り

令和元年
7月20日
吉賀町ゆめサロン
No.430

七月の

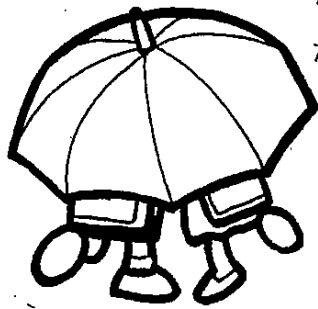
定例会



すっきりしないお天気で夕方から台風5号がやって来るような予報もある中でのお会でした。でも6月が休会だったので2か月ぶりの顔合わせとなりみんな楽しみ一杯で集合しました。

悩みは

つきなご(2)



旅行された方が楽しく語って下さって自分も旅をした気分になつてうっとり聞き入っていました。今

検査結果や体調で落ち込んでおられる方もその方のお話しを聞いて少しでも現実逃避できるかもしれない。と思っっているうちに時間が押してきて自分が話すことをさぼったり、いくら会を重ねても弥次喜多の進行には反省します。真夏だというのに湿度の高いどんよりとした中を明るく挨拶で散会しました。
次回は八月十七日です。
元気で会いましょう。

久しぶりに



甘酒の季語はなつもののだそうです。簡単な作り方がありましたのでご紹介します。生協、松江北支所 (きよんままさん)

材料
ご飯 一合分
米麹 二百グラム
お湯(六十度以下) 3・5カップ

作り方
1 材料をすべて炊飯器に入れよく混ぜる。
2 保温スイッチをいれ布巾をかけて8時間放置(蓋は開けず)たまま途中2・3回混ぜる。
おいしくできます。お試しください
牛乳で割ったりヨーグルトに混ぜたりお好みでどうぞ



間違えた

せみ、とんぼ

野生動物がよく人里に現れるというのには聞きますがこの頃は昆虫も人間をおそれないのでしようか。暑い日中にお墓に花をお供えに行ったときにぶーんといつて私の肩に止まったのは蝉だったのです。何と間違えたのでしょうか。そのままはとんぼがぶつかつてきました。まあと驚く私です。ニュースにもならないできごとです。

猫の



改名してあるにしますといいますが、呼んで下さる方が私はある方がいいと言われますし、第一ある方がいらんかおしているのです。仕方なくある子に戻します。(飼い主)みなさまあることです。

お元気ですかある子は毎日寝ています。眠いのです。食欲はあります。食べては寝ているのに牛にもぶたにもなりません。足の爪は伸び放題でカチカチと音を出して歩きます。飼い主が「爪爪を切つてあげよう。」と言つてくださいますがこれは許せません。地を這うような唸りごえを上げその後「ぎゃー」と叫ぶと飼い主は可愛いあることをぼくとなげます。ドクターにも見捨てられたある子です。まさに戦いです。こうした毎日には続き、ある子も飼い主も後期高齢者はさらに続いて時が過ぎて行きます。わすらわしいことは考えない、猫は悩まないで生きていきます。では又御機嫌よう。



ゆめサロン

便り

令和元年

8月18日

吉賀町ゆめサロン

No.431

八月の

ゆめサロン定期会

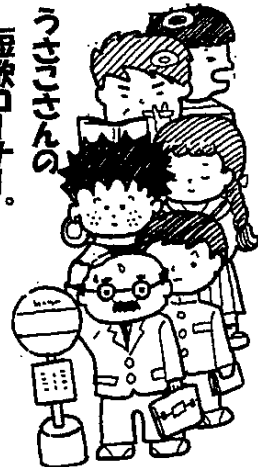


暑い日が続きますが皆様お体は変わりなく楽しいお盆を過ごされたようで楽しいお話しで盛り上げられました。

メンバーの方で乳癌やその他色々の病気と闘われてもなお楽しく生きられる九十才の元小学校の先生が歌やお話しで場を盛り上げて下さいました。お話しの中で戦争体験をされたことを話して下さいましたことはとてもよかったです。一同感謝していました。地獄でのお話しのように恐ろしい物でした。月並みだけど戦争は絶対してはならないと心を震わせて拝聴しました。この他楽しい歌も披露して下さい、うっとりして拍手することも忘れて引き込まれ大切な時間を過ごさせて頂

きました。

この他メンバーさんのお盆のお話しを拝聴したりして有意義な時間を過ごさせていただきました。保健師さんには毎回の難うございますと感謝の気持ちでいっぱいです。



うさぎさんの
短歌コーナー。

長い間下手な句を提供し皆様に読んでいただき誠にありがとうございました。今回でしばらく休ませて頂きたいと思います。

今後自己開拓に務め良い句があれば又提供したいと思えます。勝手ではありますがよろしくお願いします。二〇一九年 葉月 うさぎ
一昨年の十二月から毎月投稿して下さいありがとうございます。優しいお心に心休まりました。会員一同感謝いたします。又の機会を楽しみにします。ありがとうございました。

○若葉萌ゆ

季節もいつか濃くなつて

巡る季節の爽涼となり

○雨続き

光明の夏待ちわびて

ひまわり咲いて心も弾み

○ほとばしる

涙のかけら寄せ集め

しあわせ色にそつとぬり変え

猫の あるのです。



ある子は夏は仮眠かもしれない。なぜならば飼い主が話す声が聞こえるのです。「ある子は二十歳だからもう長く生きないだろうね」と。そんなことはありません。ある子はもつともつと生きて楽しみます。六月の終わりがころから食卓の椅子には上がりません。飼い主がバスタオルを敷いておくのですがずれていて落ちたのです。すると飼い主が大笑いして「猫なのに」と馬鹿にするのです。もう傷つきましたから今は専ら廊下に寝ています。いつか一度飼い主が寝ている顔の上を通ったらあるこのでぶいおなか飼い主の顔をこすり飼い主の顔が毛むくじやらになって夜中に一生懸命顔を洗っていたのです。あれは大変そうでした。ある子はもつと長生きして皆さんを守ります。ある子が死んだらお悔やみ放送をしようかと誰かが話していましたが、有難うございます。でも冗談ですよ。

ゆめサロン

便り

令和元年

9月1日

吉賀町ゆめサロン

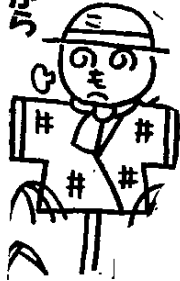
No.432

九月です。



小さい秋はどこまで来たのでしょうか。お盆から、雨が多くすすきりしません。皆様お体は大丈夫でしょうか。お見舞い申し上げます。さて九月です。お元気で頑張りましょう。

お盆明けから



雨が多くて鬱陶しいですね。久しぶりに太陽が出たら、夏の終わりを告げる蟬がミンミン、ツクリンオースと昔も今も変わらない鳴き声でにぎやかです。生きるって忙しい。



蜂と戦う

婆の話



自然のなかにいればいろんなものやっています。

その様子は、帰省した孫たちには恐怖でしかないようです。今年もスズメバチが大きな巣をかけ始めました。私は子供や孫の見ないところで退治作戦を試みたのです。

それは夕方になってホースで水圧の強い水を巣をめがけて飛ばすのです。折角できつつある巣は水浸しで、帰ってきた蜂はいれません。いつの間にか蜂は家に、はいらなくなりました。連れ合いは、無視して「悪い事をするな」といいます。でも「婆は強し」と言って頑張りました。私がしたことが悪い事ではあるかもしれませんが、娘達も息子も呆れています。そんなことはやめるといいます。私のしたことはいのかなあと反省。



あーい
お星さまに
なりました。

皆様お世話になりました。これからは、お空の上で一番明るい星として輝くことと思います。今後ともよろしくお願い致します。あーことねたこと、ある子と遊んだこと思い出がいっぱいです。私が抗がん剤を受けていた頃にある子相手に、ある子の絵本をたくさん作りました。今それを開いてみて居ます。時のたつのも忘れて。

ゴーヤのカーテン



西日が当たる炊事場の窓にゴーヤのカーテンを。それに野球ボール大の実が出来ました。数日たったころそれがはじけて黄色い、大きな花がさいたようになりました。自然って美しい。

猫のある

です。

あるこは人間でいえば百歳を過ぎていたらしいです。これからはお星さまになって高い所から皆様の幸せを祈らせていただきます。

八月三十日にあるこは体が熱くて池に入りたくまりました。そろりそろりと降りて行って池に入りました。「気持ちいい」と思った時、飼いた「気持いい」と思った時、飼いた主のツレに見つけられて、連れ戻されました。その夜ねむれなくて玄関の戸を開けようと頑張りましたが駄目でした。飼い主が外に抱いて出て夜風にあててくれました。あるこは下におろしてもらってヨタヨタと歩いて道路の傍の側溝にはいり座ってみました。池から流れ落ちる水があたまにかかって気持ちいいのです。次の日三十一日に飼い主とツレが病院につれていってくれました。先生が「あるこ二十年間よう頑張ったのう。」とほめてくださいました。爪を綺麗に切ってもらってあるこは天にめされました。皆様有難うございました。

ゆめサロン

便り

令和元年
9月16日
吉賀町ゆめサロン
No.433

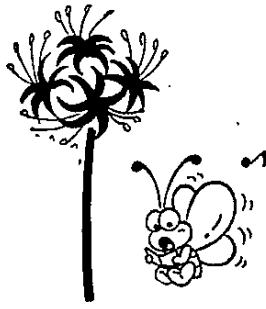
秋の風

暑い夏でしたが、今日初めて秋らしい風が吹いています。皆様お元気ですか。実りの秋、有意義に過ごしましょう。皆様のご健康をお祈り致します。



彼岸花

今年は早いように思います。暑い夏の盛りに蕾を発見して、胸躍る気持ちで眺めた私でした。いつも咲いてくれる草むらの斜面の雑草を業者の方が綺麗に草刈りして下さいました。黄緑の茎の先に赤いつぼみがついています。本格的な秋に突入です。



敬老の日



私の住む地域の方で毎年この数年母の日、父の日、敬老の日には可愛い花束とちよっとした飲み物とお菓子を持ってきて下さり、「元気で長生きして下さい」と言ってく下さる優しい男性の方が居られます。その方は六十代くらいの方でその方より年上の人に下さるようです。厚かましく有り難くいただいているのですが御役にたたせていただけることありません。良い人が居られるものだと感じ感謝しています。

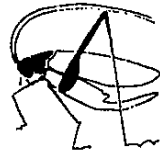
トシニガ、黒ほうずき



可愛い花です。咲いている期間が長くて助かります。私の子供が小学校一年生だったとき担任して下さいました先生が七年前くらい前にその花の苗を持ってきてくださいました。夏水仙ともいいます。いままっ

盛りで周りを飾ってくれています。又黒ほうずきという、むらさきいろの可愛い花も春から夏まで咲いてくれました。これはもう一人の子供が小学校の時、専科で音楽や家庭科を教えてくださいました先生がくださったものです。それらの花を見る時、心穏幸せを感じます。感謝して。

クッキング



山形県の郷土料理だそうです。料理名「だし」
材料 オクラ三本、キュウリ一本他夏野菜何でも
作り方

オクラと夏野菜をみじん切りにして、酢、味噌、醤油を大匙一ずつ入れてよくかきまぜる。大好みで入れる。冷ややつこやそうめんにかけてもおいしいです。友達から教わりました。
お試し下さい。

お星さま



皆様お元気ですか。ある日はやっとな飼主から解放されてお星さまの国に来ることが出来ました。ここはいいところですよ。飼主の事が少々気になりますが、飼主とその連れ合いにはゆめサロンという素敵な仲間の会がありそこで楽しんでるようなので安心して居ます。ただ、夕方お風呂にはいる時間になっても「ある子が待っていないからまだはいらない」というし、寝る時間になっても、「ある子が私の布団にいないからまだ寝ない。」というようです。今は倉敷にいる娘が、「お風呂は済んだの、ある子が心配してるよ」といつてくれています。このままではいけないから、保健所の保護猫をもらおうよ。と勧めているようです。二十年生きてくれたんだからある子を許してあげようよ。と毎晩電話して説得しています。許してもらえるのはいつになりますよ。とか。ではまたごきげんよう。

ゆめサロン

便り

令和元
9月22日
吉賀町ゆめサロン
No.434

ゆめサロンの九月例会



メンバーの皆さんお元気で一堂に会し、いつものように楽しく過ごしました。

鴨長明の方丈記の冒頭の文が思い出されます。行く川の流れば絶えずしてしかも元の水にあらず...もうじきゆめサロン開設満十一年、メンバーは少し変わりましたがお蔭様で皆元氣です。



保健師さん
いつもありがとうございます。
トクります。

今回は台風十七号の影響が懸念される会でしたが心配をよそに、お

だやかなお天気で安心でした。

保健師さんより研修のご案内を頂きました。

市民公開講座

消化器がんの予防診断から最新の治療まで

もっとほしい消化器がんのこと

口島根

日時 十月五日土曜日、十三時から
十六時半

場所 島根県立中央病院大研修室

申し込みが必要です。

電話03 5840 6072

保険証にお問い合わせください。

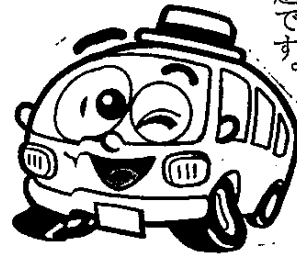
例会では

いつものように、経過報告をし、気になることを話して保健師さんにおしえてもらったり、何ととってもいつも歌の時間は最高です。アカペラで歌うのに伴奏が聞こえてくるのです。毎回の指導してくださる方に感謝です。こうして会は終わり十月の会に元氣で会う事を約束して会を閉じました。

交通弱者

会では楽しくお話しや歌の指導してくださる方ですが、生活の中で凄い努力をなさっています。交通弱者の悩みを話しておられました。それは私達みんなの悩みなのです。自然豊かな中にいても、一日がかりで病院と買い物などを済ませてかえられるお話をされました。年を重ねてみんなが経験する問題です。

やわらび



こうしていい気持ちになって家に帰るのですが、いつもとちがいました。「ある子帰ったよ」といっても迎えてくれません。あたりまえなのに、楽しかった後のギャップは大きいです。でも我慢しなきゃいけない。二十年生きてくれたのですね。今はお星さまの国でたのしんでいるでしょう。

お星さまから

こんにちは

お元気です。



皆様こんにちは

お元気で何よりです。この前お星さまの国に来たあるのですが、あの飼い主に飼われているところはいろんな経験をしました。岡山から連れて来られた時は不安で、欄間がはいってない鴨居の上にあがって下を見下ろしていたのです。朝になったら飼い主らしき人は餌と水をおいて保育園に行きました。その連れは商工会にいくのです。すると家には誰もいなくなりました。ある子は抜き足差し足で下に下りて餌をたべ、水のみます。部屋の中を探検したり眠ったりして過ごしました。太陽が西に傾くころある子はまた鴨居に上がります。疲れた飼い主が帰って来ます。それを冷たい目でみおろすあの岡山の家が恋しくて涙がでそうでした。岡山での飼い主は智美ちゃんと言う女の子でした。では又聞いて下さい。

ゆめサロン

便り

令和元年

10月11日

吉賀町

ゆめサロン 435

秋です。

暑かった夏もようやくやくおさまったようです。



さあ実りの秋です。皆様元気で楽しく過ごしましょう。

読書



「人生は美しいことだけ憶えていればいい」

佐藤愛子

研究所

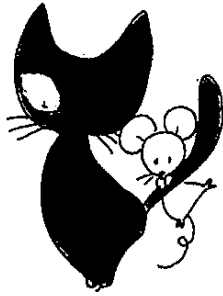
修行

この世で起こることはすべてと書いてありました。

真っ黒い猫



妹たちと一緒に飼い主がいらない猫と言うのを見に行きました。私達を見るなりにゃあといつて体を擦り寄せてきました。私達の年齢を考えると、猫が一人(・・)のこされるから可哀想だから飼ってはいけない。と夫に言われていました。真っ黒で尻尾の長いその猫は私を見上げてなにかうったえるようでした。夫をうらぎることははばかられ、そそくさと車に乗った私は黒猫にとっては冷たい奴だったでしょう。夫に話すと「当たり前」と言う顔をしていました。私は猫にとっていい人にはなれませんでした。誰にもいい人つてできないことを感じました。



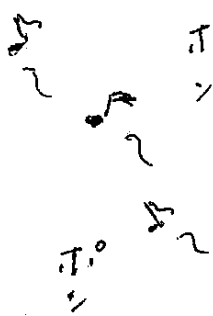
ニャーニャー

ためき



置物などではよく目にしますが、こんなに近くで本物を見たのは初めてでした。杉の林の傍の道を忙しそうに走っていました。「わあ狸だ！」と妹がいうので「どこに?」

というためきが振り返ってわたしをみました。それはまるで「これがためきよ」というように

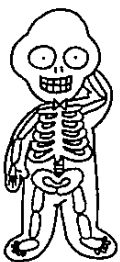


お星さまかっ

あーいっす。



皆様こんにちははあることです。私たちはまだまだ暑いですよ。そういえばある子は今思えば沢山のいたずらをしたものです。十年くらいまえだったでしょうか？夜、虫の声に誘われて外に出ました。空は満天の星です。りーんりーん、きりきりきり、と虫たちは歌います。時々目の光る動物も歩いていました。ある子も走り回って楽しんでました。夜中、飼い主が呼んでいました。何処も戸が開いていませんあるこはその度に網戸に飛びついてへばりつきました。まるでヤモリのように……。池の傍の部屋の網戸、お風呂場の網戸と網戸のぼりを楽しみました。やがて網戸は何枚か壊れました。今では悪い事をしたと思います。お星さまからみて居ます網戸は治してあげました。ごめんなさい。



ゆめサロン

便り

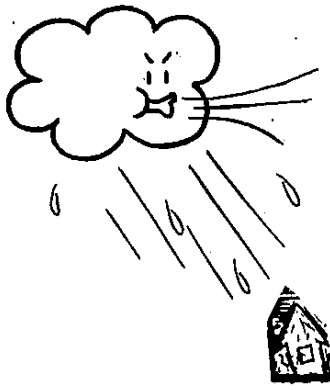
令和元年
10月14日
吉賀町ゆめサロン
No.436

台風十九号

襲来の怖い仕打ち



大きな爪跡を残しながら荒れ狂った台風でした。被害を受けられた皆様方に心からお見舞い申し上げます。昨今の台風の酷さは明らかに温暖化の影響だということを報道を通じて知り、今便利になりすぎた生活を見直さなくてはならないと知り、一人ひとりが考えないといけない時期に来ている事を感じます。



読書の秋

本の紹介

題名「孤独のすすめ」

人生後半の生き方

作者 五木 寛之

人は年をとると孤独という自由を手に入れる

読まれた方もあると思います。

われもこう

いつも玄関前に植えて風情を楽しむのですが今年花が咲かないのです。まだ早いのでしょうか。



勿忘草

私が植えたんではないのに、植木鉢の横の方に勿忘草が生えて可愛い花がついていました。これは春の花ではなかったかなあと思いつつそつとしておいてやりました

かえりざき

母の日に貰ったカーネーションが、花は終わつたはずなのに何回も花を咲かせます。お蔭で寂しい庭がいつも華やいできます。もうじき紅葉の季節です。辺りはモミジで賑やかになるでしょう。



猫の

あるじです。

あるこはお星さまの国にきてしあわせに暮らしています。でも飼主の様子を見てみると心配です、昨日はフェイスブックの自分のしるしをある子の写真を出していたのを代えようとしてカバー写真全体に飼い主を入れたものだからボヤクと心靈写真のようになりそれをそのままおいているから娘たちは「おかあさんがおかしい早く猫を買って段ボールに入れて送ろう」と言う事になり慌てて電話していました。娘の一人が「誰か帰るからその儘、まって」というと飼い主は平然と「誰も帰らんよあるこがいないから」といい娘が「ある子がいるから帰って来たんじゃない、親がいるから帰るんだからこれからも帰るよ。」といて慰めていました。ノ一天気な飼主の子供らはふりまわされていきます。そんな飼主にあるこは二十年付き合ってたのですからね。



ゆめサロン

便り

令和元年
10月20日
吉賀町ゆめサロン
No.437

十月の定例会



みんな元気にメンバーは楽しい時間を過ごさせて。頂きました。お客様は日赤の看護師さんとオール薬局の薬剤師さんの原田先生です。みんな病んだ後の色々な心のおだかまりをはき出して楽しそうに話っておられました。今回は睡眠の事、抗がん剤の副作用のしびれについて、その他いろいろ話のあといつもの歌の時間では、歌の成り立ちやエピソードを先生に話していただき童心に帰って歌いました。話題満載のゆめサロンの時間はあっという間に過ぎて、また次に会えることを約束して散会しました。

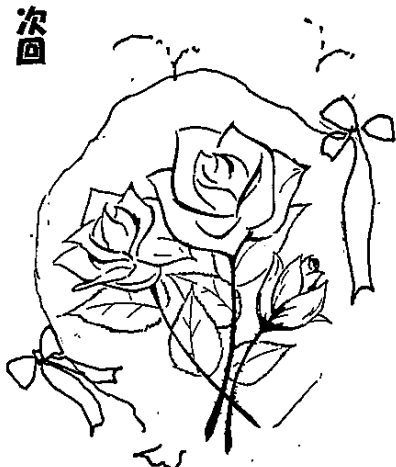


保健師さんより

インフルエンザ流行のじまになりました。今年も当町では六十五歳以上の方は千六百元でできますので予約して予防接種を受けて下さい

保健師さんへ

いつもこの会に参加して下さい、あたたかく見守っていただいで感謝しています。有難うございます。



次回

十一月十六日

です。ゆめサロン十二年目です



十月のゆめサロン



考えてみますとゆめサロンが出来てから今年で満十一年がたったわけです。こんなに続くとは思いませんでした。

ここまで続けさせていただいたことは保健師さんはじめ多くの皆様のご協力のお陰です。これからも宜しく願います。

からず



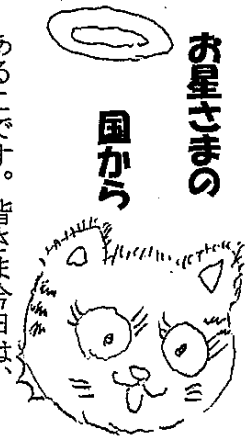
何かといやがられるからですがこれも地球上で共存するものと思いをかけてみました。

「かわいいねえ」と

すると言葉がわかるのかちよんちよんとあるいてついてきて私の目を見て首をかしげておりました。やはり反応があるのはかわいいですね。

お星さまの

国から



あるこです。皆さま今日は、

こちらはとても住みやすい所です。もと飼い主だった人は未だにあるこのことを忘れられなくてペットロス気味のように、その娘がアマゾンで絵本を買って送ったそうです。題はわたしのしもべ・です。私と言うのは猫、しもべというのは飼い主だとか。十八歳でお星さまになった猫のお話だそうです。ペットロスが治るかもしれません。手のかかることです。あるこは二十歳まで生きさせてもらったのですからね。よく洗面所で体を洗われたものです。飼い主が外に出ると心配でよくついて歩いたこともありました。あるこは今もお星さまから飼い主だった人の事を見ています。みんなのこととともに幸せであるようにと。



ゆめサロン

便り

令和元年

11月17日

吉賀町ゆめサロン

No.438

晩秋

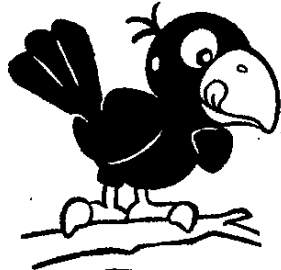
静かです。



皆様お元気でいらっしやることとお慶び申し上げます。毎日いいお天気が続きます。紅葉の美しい季節です。元気で過ごしましょう

十一月の

定例会



この度は、文化祭、お寺の供養、天神様のお餅つきなどのお手伝いで皆さんそちらの方にご参加なされたため、ゆめサロンは少人数で

の開催でした。でもそれだけお元氣だということと喜びました。ご都合が悪いと言う事は前回の時にお聞きしていたのですが、他所からお越しいただいたときのために・・・と小さな希望をもち開催しました。少人数だけれどいろいろお話を楽しく、あつというまに過ぎました。十三年目を迎える事が出来たのも保健師さんのお陰と感謝しています。

保健師さんが、「会が始まった時あなたは本当にしんどそうだったのね」とおっしゃってくださり、十二年間ずっとみていてくださったのだと感謝したり老いた姿をお見せすることになったと残念に思ったりしました。

このサロンでお会いした方々、お世話になった方がたが走馬灯のように頭の中を駆け抜けます。これからも楽しく過ごせる場であることを願いがら会を閉じました。



うさぎさん

有難うございます。

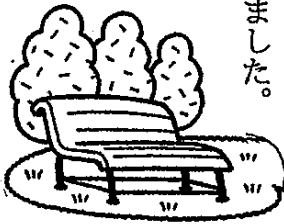
○ 徒に

よわい
齢重ねた我許し

残る余生に希望を託し

二〇一九年 霜月 うさぎ

サロン集会の合間にそつと渡して下さいました。



保健師さんより伺いました。今年はいつもの年より早くからインフルエンザがやはりはじめたと報道など聞くので一層気を付けまじょう。この事です。

二十歳三か月 生きてくれた あるこ

を忘れない

あるこは多くの思い出を残してくれました。あるこの事を忘れたくないので、また猫を飼おうとは思いません。素晴らしいながら野良猫のために、いけないと知りながら、犬がいた小屋にこっそりと餌を置いてやる私です。今、娘からすすめられているのはハムスターです。

近所に住んでおられる男性は二人のお子さんを一人前にされて、奥さんと二人暮らしのため、トイブードルと言う種類の犬を飼っておられ、時々その犬を連れてきてくださいます。こんな優しいかたもおられるのかと思うくらいペットに対しても人に対しても優しく接しておられます。

こうして書いて行くうちにも、ある子のしぐさを思い出します。私の目をじろつとみたあの顔を・・・



ゆめサロン

便り

令和元年
11月26日
吉賀町ゆめサロン
No.439

初冬

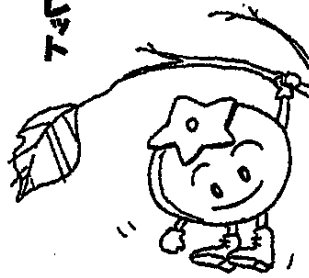
皆様お元気ですか。



風に乗って木から離れいりんなところ飛んでいく木の葉を見ていとまるで自分がそうしているように楽しくなります。今は出かけると言えば近場ですが、体力的にもそれがいいです。みなさんお元気で。

投稿

タブレット



かねてからほしくしてならなかった、タブレットを買ってきました。これでなにをするかというコライ

ンです。

持ったこともない重い物を鞆に入れて出かけた。ところがです。

うちには無線ラン、つまりワイファイとやらがあるからやれるらしいのです。四苦八苦しても駄目でした。訳がわかっていないと言うものは解つて人から見たらさぞおかしいことでしょう。これに懲りて家でだけこの機械であそぶことになりました。ガラケイの携帯とタブレットとパソコンに振り回され、合間にはテレビを見ている。なんといいそがしいことです。

緑子

投稿

自然



自然はときに牙をむきます。でも日本には春夏秋冬、季節がはっきりしていてそのときそのときの良さを実感することが出来ます。それは田舎ならではのこともかもしれません。吉賀町は桜並木という名所もあり

ますが、楓や銀杏を並木に植えた

ら周りの景色とマッチして美しいんじゃないかなあ、と友達と話しました。晩秋、散った葉っぱが高津川に浮かぶ姿を思い浮かべて思いにふけています。

緑子

紅葉の星



毎朝朝日が出るとカメラをもって裏庭に出ます。そこは黄色、緑、赤などの葉が美しさを競い合っています。ねらったところをはっきりそのほかのところをぼかした写し方をしたいのに私の思うようになりません。風が吹けば、色とりどりの葉が、妖精のように青い空に舞い上がるさまを見てうっとりしている私です。



お星さまの国から

あることです

和風

皆様こんにちはお元気ですか。あのこの、前の飼い主は未だに寂しがつていますがそのたびに、あることが白内障になったり認知症になったりしては可哀想だからお星さまの国に行つてよかったよ。と自分に言い聞かせているようです。飼い主の娘が送つたのは「わたしとげぼく」と言う本です。インターネットで人気がなっているらしく音楽とともこの話が聞かれています。それらの猫は皆十八歳でお星さまの所へ逝つたようなのである。こんなか二十歳で逝つたのですから飼い主も諦めているようです。前にもお話ししましたが、飼い主がお風呂にはいる時、あるこはいつも洗い場で見てやっています。時々湯船に前足をを入れてお湯の温度を確かめてやつたものです。何かと、どんくさい、何もできない飼い主のことをお星さまの国からみえています。

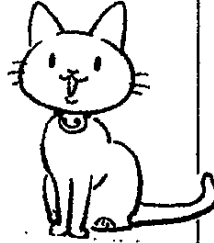
ゆめサロン

便り

令和元年
12月22日
吉賀町ゆめサロン
No.440

今年最後の

定例会



令和元年の十二月定例会も、元気で楽しく行いましたと書きたいのですがお一人の方が風邪をひかれて殆ど治ったけど皆さんにうつしてはいけませんので、とお気遣いくださり、休まりました。みんなが早く良くなるように祈りながら会を進めさせていただきました。今回はより家庭的な気分です。今回保健師さんに電気カーペットをさせていただき、リラククスした中での会でした。驚く事には、シートケーキと、ドリンクとミニフオックをおうちから持ってきて下さった方やりんごや黒豆を持ってきて下さった方などいらして、遠慮なくいただいて、楽しい時間を過ごしま

ました。

会も終わりに近い頃

師走

益田の薬剤師の原田先生がいらしてくださり会場の雰囲気はガラツとかわりみんなせきを切ったように質問したり、最新ドローンを動かして見せて下さったりしてメンバーは理科の時間に質問する子供のようには歓声をあげておりました。考えてみれば平均年齢は七十をすぎた生徒たち・・・来年も元気で集まることを約束して終わりました。

一月の定例会

一月十八日(土曜日)

二月の定例会

二月十五日(土曜日)

医師会病院の柿木先生のご講演を拝聴することで定例会に代えさせていただきます。薬剤師さんも来られます
テーマ 高血圧



その他

保健師さんより



インフルエンザが流行っています。気を付けて下さい。
犬が住んでいない犬小屋に毎日そつとノラ猫にやるつもりでえさをやっています。日中はなくならないのですが朝に見ると必ず無くなっています。私は一、二度見たことのあるあのノラ猫が食べていると思っています。その話をしたらメンバーさんが「それはほんと猫かね」といわれました。猫の餌をやるのだがなあと思えますが「狸か狐かもよ。」といわれてみればそうかもしれません。何でもいいたらなついでほしいと思うこの頃です。

きつね?

秋興抄



会の内容はほんとに学ぶことが多い一番先輩の方が言われるには来年の計画を早くも話されました。それによりますと一年かけて秋興抄を読まれるのだそうです。私はそんな難しい事はできそうにないのです。いけど調べてみました。

鎌倉時代の法語集。

○著者は親鸞の弟子の唯円らしい
○浄土真宗の聖典で十八条からなり前の十条は親鸞の法語、あとは親鸞没後の・・・
凡人のわたしには理解できないかもしれませんが、ここでも昔取られたきねづかで教員魂を發揮していただきます。

初冬の午後暖かい雰囲気の中で多くの事を教わりました。



ゆめサロン

便り

令和2年

1月7日

吉賀町ゆめサロン

No.441

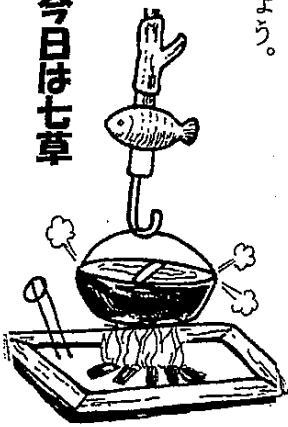
明けまして

おのびびりげんます

みなさま今年も宜しくお願い致します。

いいお年をおむかえになったこととお慶び申し上げます。サロン便りもあと五十九号で五百号になります。続けていきたいものです。今年もみなさまお元気で楽しみましょう。

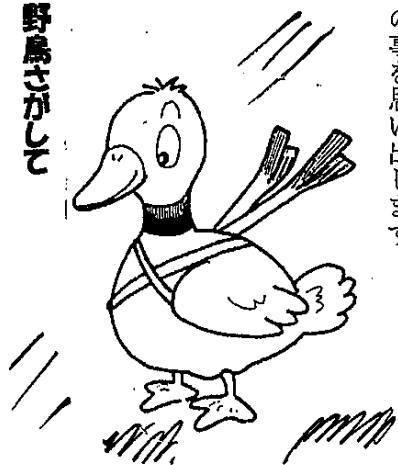
今日は七草



春の七草を子供の頃に覚えたものです。それを教えた親も希望にあふれていたことでしょう。こんな婆さんになりました。でも覚えた日

の事を思い出します。

野鳥がいて



わが家のペットがお星さまの所に
行つて4か月…寂しい日を送っています。心優しい方からお便り頂いたり電話いただいたり、年賀状を出すのも躊躇したとおっしゃってください方も有りお心に感謝する私は早く立ち直るために野鳥探しの旅に出る日々です。今まで気がつかなかったのですが綺麗な高津川にはいろんな水鳥がいる事を知り、それら同士のドラマがあることも知りました。鴨、白鷺、アオサギ、オシドリなどカメラに収めて楽しんでいきます。時間によつて移動することも知りました。様子を見ただけで物語が出来ます。私はまだみたことがないのですが、か

いつぶりもいるそうです。そのうち鴨を友達にしようと思心を持つ昨今です。でも私は高齢だからなついてしまった鴨が寂しい思いをするといけないし、悩みは尽きません。



年末

そして



お正月

何時も二人のところには五人増えて七人の大人数の為離れも使用って賑やかに過ごしました。皆様楽しく過ごされたことでしょうか。又教えてください。 緑子



猫ちゃん



お星さまになったある子の代わりに白黒の猫が時々裏庭に姿をみせてくれたのですがこの最近現れません。その姿を想像すると必ずリュックサックをしょっているのです。古い小さな犬小屋を置いてその中に座布団を敷いてあります。ある子がよく入っていたハウスでした。「あるこ宿賃をはらうのよ。」と意地悪を言っていた私です。毎日白黒の猫のために餌を置いてやっています。朝になってみると必ず無くなっています。大晦日の夜はすき焼きの残りのおつゆにそばと食パンをいれておきました。やはり食べていてくれます。でも不思議なことに最近すがたをみたことがありません。元気でいてくれればいいがと思うとともに子供を沢山連れてきたら困るがと心配にもなりません。あるこがいなくなつてから頭が円形脱毛症になりました。でも元気でいる事を感謝しています。



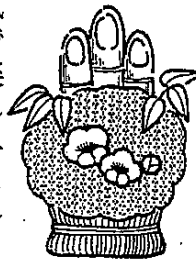
ゆめサロン

便り

令和2年
1月19日
吉賀町ゆめサロン
No.442

今年の

初定例会



今年も元気で楽しみましよう。

今回お二人の保健師さんがご参加下さいました。十一年前からずっと私達に寄り添ってこの会に参加して下さいました山本保健師さんが今年度でご退官なさるといふことで次に参加して下さいました長嶺保健師さんとお二人でいらして下さいました。手探りで発足した私達は助けられて続けることが出来ました。更に続ける事の難しい役を若い保健師さんにお願ひすることになりました。十一年間有難うございました。そしてこれから又宜しくお願ひいたします。

うさぎさん

短歌いただきました。

○連類れんるいの

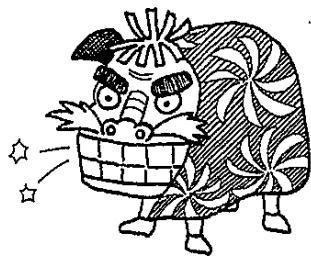


集いあつてのありがたき

共に胸襟、開いて語り 月

二〇二〇年 睦月

有難うございました。会の間に作って下さったようです。



集いの中で

今回は電気カーペットの上で雑談的に進めました。が今回はお一人ずつの体調を披露しあい、またことしの抱負を発表して下さるかたもありました。今年はずみどしだからそれを頭に浸けて

ねほりすまへ

するするはだめ

みは何だったかな

どくしよをされることなど、早くも教わるばかりのわたしです。

又上弦の月、下弦の月の問題提起をして下さり、その考え方について保健師さんがスマホで調べて下さり何かと教わることの多い有意義な会でした。翌日やはり納得がいかなくて、問題提起して下さいました方に電話したりインターネットで調べたりして
夕方からみられるのが上弦の月
深夜から明け方に見られるのが下弦の月、左欠上弦、右欠下弦

と教えて頂きました。この後、アパペラで三十分歌を歌い楽しい時間を過ごしました。又元気でお会いすることを約束して会を閉じました。

二月のゆめサロン

健康教室が同じ日にありますのでこれに参加させていただきます。

○二月十五日 土 一時半から 三時半まで

場所 福祉センター

講師 益田地域医療センター

柿木伸之先生

薬剤師 猪股育夫先生

なお三月のゆめサロンは例年通り仲間の会と一緒させていただきます。



ゆめサロン

便り

令和2年

1月19日

吉賀町ゆめサロン

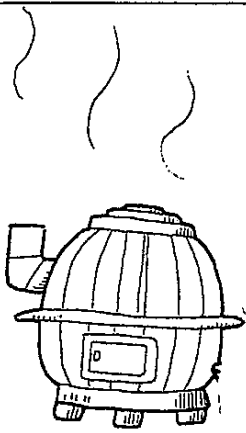
No.443

暖冬



いいのかなあこんなに暖かくて・・・

そんなことを思いながら川べりを散策していますと白鷺が羽音を立てて飛び立ちます。その川をよく見ると赤白の錦鯉というのでしょうか、ゆうゆうと泳いでいました。よくみると真白な鯉もいます。鴨はその時間はいませんでした。時のたつのも忘れてじっと見ていました。年を取るといいうのも、いいものだなあ、とこの時だけ思う私でした。



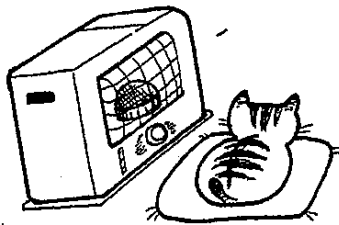
猫ちゃん恋しい



近頃姿を見せてくれません。私の思いの中には前にも書きましたがりリュックサックをしょって白と黒の模様のある猫が池の傍を歩く姿ですいつもやっていた犬小屋の餌いれにもこの頃は食べ物を入れて居ません。そうすることで様子を見に来てくれるかもしれないという期待を持つ私ですがそんな夢のようなことはないのでしょうか。私の妹はいいます。「いい加減にしなさい。それよ何十万か出して九官鳥でも買ったらいよいよ。」といますが、まだ若い妹には私の気持ちはわからないでしょう。そういえば昔、九官鳥を妹が飼っていました。「○○ちゃん」と妹のなまえを呼んだり、「おかあちやーん」と母を呼んだり姪っ子や甥っ子の名前を呼んだりするのはです。何かこそ言っているがと思えば父が孫たちを躰けの為

に叱っているのを真似ているのです。これはちよっとプライベート面で賛成できないという事と第一そんなことを大金で解決したくありません。そこで私の病と闘ってくれたあることを、妹と夫には悪いけど今日もそつと呼んでいます。

かえでの実



去年の秋は楓が沢山実をつけたようので友達にきれいに紅葉した楓を送ったらプロペラのような実がついていたと手紙を頂きました。友達は植えたよ

あまの思い出



ペットの思い出は誰にだってあります。誰だって可愛いと思えます。でも、人生も百年というように猫も長く生きるようになった今、あの世に近くなつた私が無責任に飼い始めるわけにはいかないと思うと思いつく思い出の中にいきることしかできません。一緒に過ごした日々の事を少しづつ思い出をたどらせて頂きたいと思えます。

あるこは狩りが得意な種類の猫だと思えます。度々いろんなものを捕って帰っていました。そして一番気に入った者の足元に置くのです。夫の事を大好きで足元によくネズミやすずめやトカゲなどを置かれたものです。その度に掃除をするのは私です。「チュウチュウさんを持って帰ったらいけんでしよう」と叱ったものです。夫は言いました「猫がネズミを捕るのはあたりまえ」と。今反省の私です

ゆめサロン

便り

令和2年
2月7日
吉賀町ゆめサロン
No.445

もう二月

を過ぎて



光陰矢の如し、・・・はやいですね。でも生きている限り楽しく生きましよう。このところやつと寒さがやっつてきました。渡り鳥たちも戸惑っていることでしょう。

皆様お体お大事になさって下さい。

オリオン座



この前、上弦の月と下弦の月のことを教わりましたが、今度はニュースで知ったのですが、オリオン座の中のペテルギウスが観測史上異例の暗さになっ

ている、超新星爆発が近い？とありました。これは太陽の三十倍の大きさなのだそうす。宇宙とはわからない世界なのに、私が一人で心配しても何の役にも立たないのに、心配しています。

そのむかし、夜に望遠鏡を携えて地区ごとに回って観察させてくださった熱心な先生のことを思い出し頭がさがる思いがします。

お元気でいて下さることを祈りながら。

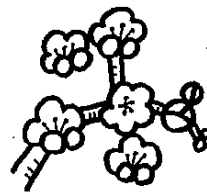


鴨たち

朝の、片付けが終わるとカメラをもって川べりのどてにむかいます。そこでは鴨、白鷺、鯉、カラスなどが待つていてくれます。誰も何にも言わないせせらぎの音だけがして、調子が良ければ、

羽根を綺麗にする鴨仲間が見守る姿を見る事ができます。寒いけどやめられなくなりました。贅沢なひと時です。

今の気分



この頃、無性にものを考えるのが億劫になった私は黙って写真をとることに没頭してします。そういう時被写体が私に語り掛けてくれたり、被写体同士の話し声を思い浮かべて楽しんでおります。歩いて川やあちこちに行くときはそこにいる小鳥たちが道案内してくれたりそれをまた写したりします。帰ってフェイスブックにアップすると、いろんな方からのコメントを頂くことが出来て、こんな私の遊びごとに付き合ってくださる心暖かい方もおられることに感謝する私です。

煩いことには関わりたくないという我儘な私です。

私の役目



実は、癌をわずらっても生かせてもらっている幸せを感じる事が出来るように、去年就職した孫が、毎朝電話をかけさせてくれるのです。その子はもう少して二年前になりましたが大病を克服しました。その後国家試験を受けて医療関係の仕事に就き、働いています。朝六時二十分に電話で起こしてくれというのです。その時他愛もない事を話す私に受け答えしてくれます。それは男の子でその子の親も納得してくれています。いつまでそれをさせてくれるかわかりませんが、今はその幸せをかみしめています。

ゆめサロン

便り

令和2年
2月16日
吉賀町ゆめサロン
No.446

二月も半ば

健康教室に参加



久しぶりに会えるメンバーさん達の事を想像しながらでかけました。この日は二月半ばとは思えない温度の高さで出かけるには楽だったのですが、これまでのゆめサロンの日のような良い天気ではなくて残念でした。

会場では講師の先生お二人とスタッフの方々が明るく迎えて下さり、ゆめサロンメンバーは左端に陣取らせていただきましたが、私は、後半は真ん中あたりの一番後ろにいかせていただき久しぶりに、学ばせていただきました。お話しを拝聴して全部書いてご都合が悪くて来られなかった方にお知らせしようと思っただけですが、専門的なお話しを

私のようなものが、取り違えをすると大変なことになると思い、書きとると言う事はやめましたがお忙しい中をいらしてください、不安を解消していただいたことをお二人の先生に感謝します。有り難うございました。

コロナウイルス



今年になって不安なニュースが毎日報道されています。巷ではマスクが手に入らないとかいう状態に心配は尽きません。早くこの心配から逃れられるように願ってやみません。



ジョウビタキ



これは日本にいる野鳥なのですが今までの年まで興味を持ってみたことがないのは私が余裕のない生活をしていたと言う事なのでしょう。妹に話せば「可愛いよね散歩したりすれば前を先に歩いて誘導してくれるよね」といいます。どんな山奥で経験したんだろうかと思えます。

この前池のすぐ後ろで小鳥が鳴くのでみると、いました。私を見ながら楓の枝を渡り歩いていました。私はある子と名付けた猫との生活が長くて、ほかの物は目に入らなかつたようです。その後もジョウビタキを待つのですが現れてくれません。



あまざけ



- 友達に教わったやりかたです。
- 一合のお米でご飯をたきまます。
- 炊いたご飯を鍋に入れ水九百ccを入れ六十度まで熱します。
- 一旦火を止め米麴三百グラムをその中に入れて混ぜまます。
- もう一度火にかけ温度計で計って六十度になったら火を止めます。
- それを炊飯器に戻して保温にセットし、時々温度を測って四、五時間おきます。
- これで出来上がり、冷蔵庫で四日位もちます。

おたのしみ

仲間の会

日時 三月十四日 午後から
参加させていただきましょう。



ゆめサロン

便り

令和2年
3月8日より
吉賀町ゆめサロン
No.447

春です。



今年は暖かい冬で、何かと助かりましたが三月半ばになつて雷がなつたり雪が降つたりしたのは大変でした。皆様お元気でお過ごしでしょうか。お体を大切になさって下さい。

新型コロナウイルス



厄介なものが蔓延して学校関係も休みになり、子供の姿も見えなくて心細い世の中ですが、早くいい方向に向かうようにと願うことしか出来ません。手洗い、うがいが大切だそうです。いつもやっていることですが、さらに気を付けましょう。

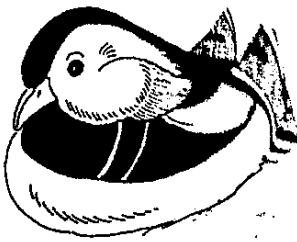
野鳥を

愛す人に会って



浜田にすんでいる、私の妹の娘が、母親である妹の体調が悪くて見まいに帰る途中、撮影をしておられた方の所にお邪魔して「オシドリをとっておられるのですか」というと「クマタカです」と言われ、一枚の名刺を下さり色々野鳥の話をして下さり感激していました。その方はホームページをもっておられるそうで後で検索して拝見しました。いいご縁を頂き、姪は感激しておりました。母親も元気になるでしょう。

反省の邊



朝の雑用を済ませるとカメラをもってそそくさと鴨に逢いに、

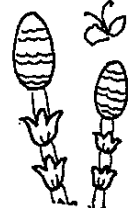
川の傍に向かう私の生活が続き、楽しくてなりませんでした。それに答えてくれる鴨、セキレイ、カラス、鯉、向こうの道路に出勤される方々の車の列を横目にシャッターを切る私でした。ところが或る時、向こうの道路から私がいたところを見るとはつきりみえるのです。何と恥ずかしい事をしていたのかと反省することしきりで、次の日からやめました。なんとときまぐれな婆さんでしょう。今は鴨もいないかも。

孫と



男の子二人とそれらの親である娘と今年も山で遊びました。堅穴式住居を作るのだと張り切る二人です。ここにログハウスをつくれればいいと夢の様なことを話して盛り上がりました。

ある子の夢



ある夜に、ずっと一緒に遊んでいたのに目を放したその時、あるこはいません。「あるこは？」

「あるこはおらん」と夫その時目が覚めました。

「やっぱりあるこはいらんだねえ」と私が言うと夫は「おらんでもそう思うとるだけ」といいました。

何か豊かな気持ちでした。やはりあるこの魂がここにいるのだと思います。野良猫に餌をやったりはしません。私にとつてある子との思い出の中に生きることに幸せです。新型コロナウイルスのことが聞かれるようになって今、あるこはいなくてよかったのかもしれない。思い出を大切に生きます。

